習作（日本畫）	大谷誠之助	
習作（油畫）	上條雄也	
習作同	吉井雄之介	
習作同	永田晴雪	
山小屋同	長坂陽雄	
O君同	梅澤一雄	
習作同	松本磐祐	
室内同	後藤顕義	
集ひ（日本畫）	國領經郎	
風景（油畫）	荒關芳一	
習作同	佐藤昌祐	
翌〔習〕作同	三橋文雄	
室内同	清水文融	
習作（日本畫）	關豊	
其他手工及研究作品等	須藤良德	

⑥ 依嘱製作

受託年月	完成年月	件名	数	依嘱者	製作担当者等
16・5	16・7	賞牌	10個	日本学術協会西成甫	佐藤省吾
16・11	17・1	肖像画	1面	多賀高等工業学校	田辺至
16・11	17・3	蒔絵吉祥模様飾筥（三笠宮御慶事奉祝献上品）	2個	東京市長大久保勇次郎	六角紫水
	17・3	発明章 功労章	250個 250個	日本製鉄株式会社	図案森田武 製作佐藤省吾

⑦ 研究科修業年限延長

昭和十六年六月、研究科の修業年限二年を三年に延長した。

⑧ 事務官設置

昭和十六年六月三十日、文部省直轄学校職員定員令改正により本校に事務官一名が置かれた。

⑨ 事務分掌規程改正

昭和十六年八月、本校事務分掌規程を改正し、経理課の名称を廃止し、庶務掛および会計掛をそれぞれ庶務課、会計課とし、従前の教務課中の教務掛、生徒掛をそれぞれ教務課、生徒課とし、文庫課の図書掛および標本掛の区別を撤廃し、時勢の必要に応じ各課所管事務を増補した。

⑩ 修業年限臨時短縮

昭和十六年十月十六日、勅令により大学、高等専門学校の修業年限を六ヵ月以内短縮しうるということが定められ、十六年度は三ヵ月短縮することになった。そのため、既述のように本校でも翌十七